

会社の被害届は捏造だ！ 警察に捜査中止の申し入れ！

会社は12月20日、「業務妨害」をデッチ上げ、その後警察に「被害届」を出した。会社は、警察権力を使って、かつての東京駅事件以上に不当な大弾圧をかけるシナリオを描いているであろう。

東海労本部3役が東京第二運輸所総務科を訪問、わずか7分程度の会話中に、管理者は直ちに警察に通報。いかにもマニュアル通りの通報方だ。通報を受けて駆けつけた警察も異常だ。管理者の「退去通告10時02分」からわずか13分後の10時15分に職場に到着。パトカー2台、ワゴン車1台、覆面パトカー1台、警官制服・私服合わせて約16名である。殺人事件以上の大げさぶりである。警官全員が引き上げたのは11時05分頃であった。最高裁判決が出たときから、会社はこのような行動を決めてあったとしか思えない手際の良い一連の動きである。

27日、本部は丸の内署に「捜査中止の申し入れ」を内容証明にて郵送した。会社の事件デッチ上げによる弾圧を許さず、組合員の団結力ではね返そう！

会社はテロを想定した防犯マニュアルを作っていたのか!?